

# OBON 2015

遺留品・記憶をご家族の元へ



誰にでも一人一人に家族がいます。

第二次世界大戦の退役軍人3人、遺族、陸軍、沿岸警備隊および地元の関係者各位とその家族を迎え、3月23日、日章旗返還式を行いました。会は和やかに行われ、その様子は、地元メディアにも取材されました。

式典後、多くの出席者から「これからも、是非、活動を続けてください」という励ましを頂きました。

## 目次

Page 2: 返還式

Page 3: 返還式

Page 4: エルマー・ベハトルド氏

Page 5: 当協会の展示

Page 6: 調査の一例

Page 7: 寄付のお願い・連絡先

# 返還式

オレゴン州アストリアにある、コロンビア リバー海洋博物館内「バーベイセンター」は、過去に列車の駅として使われていた歴史のある建物です。当団体は、ここで、初めての日章旗返還式典を開催しました。式典の様子は、オレゴン公共放送局により、中継されました。(写真下)



式典は、一時間に及び、多くの関係者・協力者に、ご出席をいただきました。

午後2時より	アメリカ陸軍マット・ゼドウィック氏除隊式及びシルバースター勲章授与（2004年イラクに於ける功績に対して）
開会の辞	シンディ・プライス氏、アストリア市議 特別来賓、アーリン・ラミール氏、アストリア市長
ご挨拶	スティーブ・R・ビーチ准将、アメリカ陸軍参謀総長付最高総務責任者、オレゴン州ナショナルガード シーン・マッケンジ氏、米国海岸警備隊コロンビアリバー管区副司令官 ジェリー・オステミラー氏、オレゴン州歴史協会理事、コロンビアリバー海事博物館前館長
当団体の活動	レックス&敬子ジーク、OBON2015 発起人・代表
日章旗の返還	エド・バートレイン氏、元第41歩兵師団 ルランド・ルイス氏（通称バド）、元第41歩兵師団186通信部隊 レスリ・ウェザリル氏（通称バック）、元第41歩兵師団162対戦車部隊 トッド・ジョンソン氏（元163通信部隊カルバン・エドワード氏の代理、孫） ウースラ・バセット氏、ジェリー・バセット氏（元米陸軍112兵站連隊、デール・バセット氏の代理、妻と息子） エレーン・ロック氏（元英空軍キース・クレグ氏の代理・娘）
閉会の辞	古澤洋志氏、在ポートランド領事事務所

# 返還式

第 41 歩兵師団より、3 人の帰還兵の方が、数時間かけ、式に参加して下さいました。



ルランド・ルイス氏 (通称バド)



エド・バトレイン氏



レスリー・ウェスヘリム氏 (通称バック)



5 枚の寄せ書き日の丸が、厳かに当協会に手渡されました。当協会では、さっそく日本の持ち主・遺族の搜索を開始します。



ステイブ・ビーチ准将によるスピーチ



エドワード・バートレイン氏。手入れの行き届いた制服に身を包み、当時と変わらぬ精悍さです。

加えて下記の皆様の甚大なるご協力とご好意により、式典を開催することができました。

キャロリン・バッハ、ボブ・バッハご夫妻 (第 41 歩兵師団代表 - jungleer.com を参照)。

オレゴン州ポートランド市デビッド・ファンク氏 (第 41 歩兵師団と、オレゴン州軍との連絡に貴重な援助をいただきました)

モーリーン・スミス氏 (お父様より日章旗を返還いただきました)

ジェリー・バセット氏、ウースラ・バセット氏、トッド・ジョンソン氏、エレイン・ロック氏

式典の様子は、下記のリンクよりご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/watch?v=BA1plknm-mw>

<http://koin.com/2015/03/23/oregon-ww2-vets-return-japanese-flags-to-families/>

## エルマー・ベハトルド氏

当団体による、返還式の様子はメディアを通じて全国で報道され、多くの方々に、会の活動を知っていただくことが出来ました。第二次世界大戦の帰還兵、エルマー・ベハトルド氏も、そのうちの一人です。彼は、当会の活動を知るや、すぐさま連絡を下さりました。

ベハトルド氏は、米海兵隊第 5 師団の一員として、硫黄島侵攻作戦の第一波攻撃に参加しました。当初、200 名いた部隊員は、作戦開始からわずか 2 時間後、12 人になるほどの激戦だったそうです。

ベハトルド氏は、穏やかな声で話しますが、この地獄のような経験は、彼に深刻なトラウマを残します。右腕に被弾し、負傷兵として前線を離れるまで、24 日間、生き地獄の中にいました。撃たれる直前、ベハトルド氏は、日本兵の死体から財布を抜き取りました。帰還後も、その財布は彼の手元にありました。



1995年 3 月 14 日アリゾナ・リパブリック紙

その後、何十年も、ベハトルド氏は、この財布に苛（さいな）まされます。財布の中には、少しのお金と子供達からの葉書などがありました。ベハトルド氏は、時間をかけて葉書を翻訳しました。

葉書は、父親の帰りを待ちわびる幼い子供達からでした。この死亡した日本軍将校の記憶と共に、彼の若い子供達への思いは、ベハトルド氏を苦しめました。彼は、子供達に連絡する方法を、生涯をかけて探し続けています。

20 年前、アリゾナ州で、ベハトルド氏は、「硫黄島の戦闘 50 周年」記事向けにインタビューを受けていました。ベハトルド氏は、その時の記者を信頼し、財布を託し、兵士の息子達を見つけてくれるようお願いします。

その後、この記者は、硫黄島へ取材に行った際、財布を紛失してしまいました。

ベハトルド氏が経験した強烈なトラウマは、彼の心を蝕み続けています。彼は、兵士の息子に連絡することが、唯一の救済だと考えています。残念ながら、これらの息子を見つける唯一の手がかり、財布は、中に入っていた手紙と共に、この不注意な記者によって、永遠に失われてしまいました。

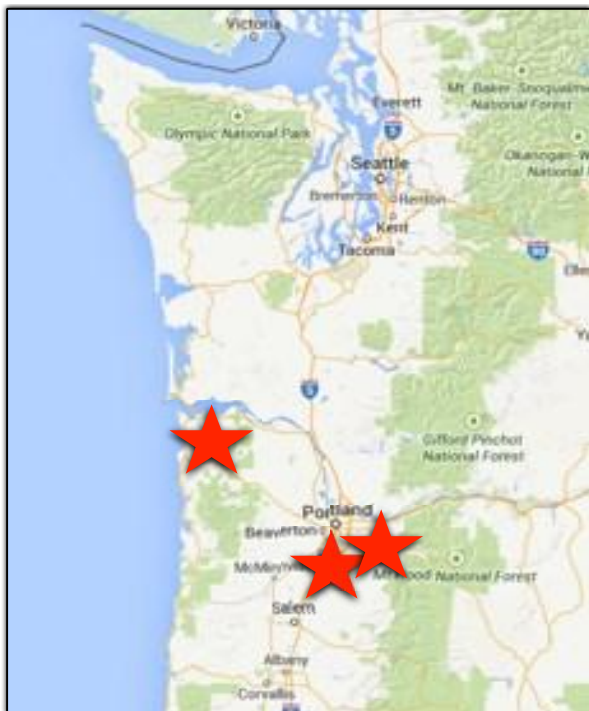
当団体は、時間をかけ、その時の記者を探し出しました。彼は、ベハトルド氏からの財布を受け取ったことを確かに覚えていましたが、どこへ置いて来てしまったのか全く覚えていません。次に、当団体は、記事の写真を撮ったカメラマンを探しました。ネガフィルムが残されていれば、手がかりになるかもしれないと考えたからです。しかし、カメラマンは、「アリゾナ・パブリック紙のアーカイブから、20 年前のネガフィルムを探し出すのは、数年かかる」と述べ、協力を拒否しました。

絶望的な状況ですが、当団体は、それでもベハトルド氏の力になりたいと思っています。70 年来苦しめてきた悪夢より、氏を救えるのは、日本の息子達に連絡することだからです。

## 当団体の展示

当団体は、以下の3ヶ所での、寄せ書き日の丸をテーマとした展示を準備しています。

6月15日、オレゴン州ポートランドのオレゴン歴史協会は、ピート・マーク氏の第二次世界大戦コレクションの展示会を開催します。当団体からは、3点ほど出展します。



2番目の展示は、より大規模で、ポートランド市ダウンタウンの「オレゴン日系歴史博物館」で行われます。

ここでは「寄せ書き日の丸」の生い立ち、戦場の兵士達にとって意味するものを展示します。

この展示物は、他の博物館やコミュニティセンターへの貸与が可能です。詳細は、[contact@obon2015.com](mailto:contact@obon2015.com) まで、お問い合わせ下さい。

3番目の展示は、オレゴン州アストリア市、コロンビアリバー海洋博物館の海戦展示室で行われます。ここでは、ビデオに加え、本物の日章旗も展示し、「寄せ書き日の丸」の物語一部始終を展示します。この展示は、2015年から、2年以上継続される予定です。



家族からのお守りとしての日章旗



戦利品としての日章旗



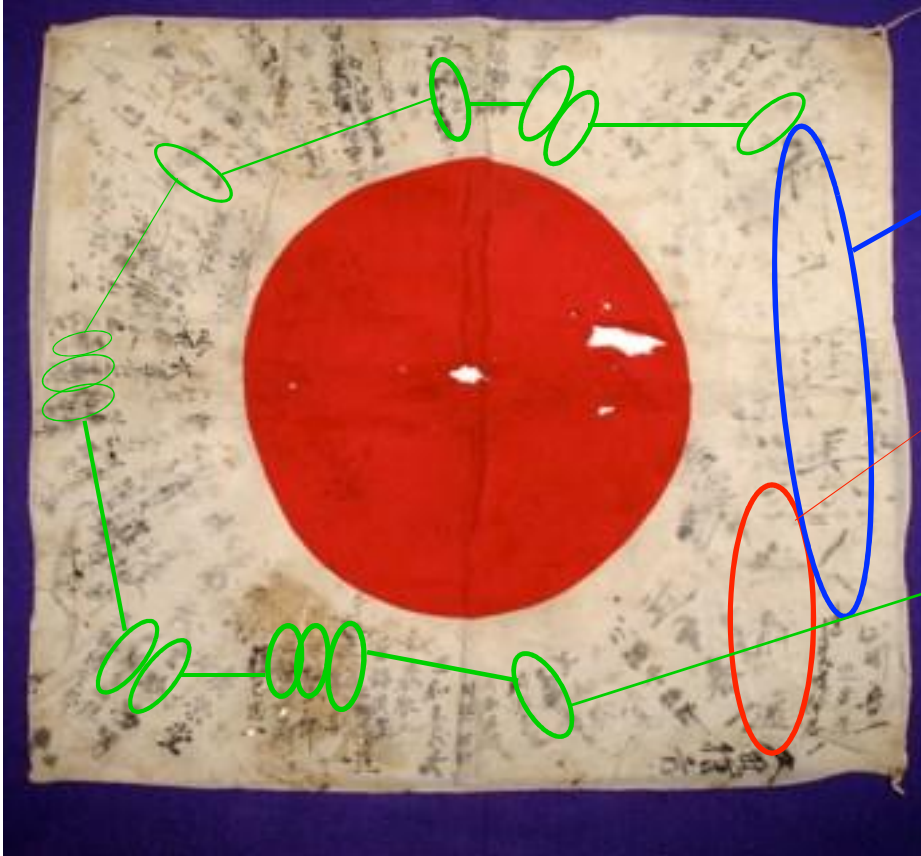
戦争の傷跡としての日章旗



形見としての日章旗

## 調査の一例

この日章旗は、アイダホ州のあるご家庭から、届けられました。長らく、彼らの父の元に、保存されてきました。日章旗が届けられた時、筆致は色あせ、兵士の名前が見当たりませんでした。当初、解読は不可能に思われましたが、綿密な調査を続けることにより、持ち主を判明するに至りました。



このかすれた部分には、「武運長久」と書かれていた。これは、戦場での無事・成功の意味で、多くの日章旗にも見られる一般的な言葉。

同じ筆跡の名前。姓は「三輪」。おそらく、旗の製作者

ここに多くの「三輪」姓の名前が見受けられ、大家族だったことが窺える。OBON ソサエティは、三輪姓が多く見無受けられる岐阜県を中心に、現地調査印・関係者と連絡を取り合い、調査を始めた。



三重県の位置

この三輪守という兵士は、結婚していなかったが、二人の兄弟がいた。そのうちの一人には、息子がいて、現在、三重県在住。日章旗の返還を希望され、現在、旗は故郷へ帰還の途にある。

現地調査員達は、市の各戸を訪ね、墓地を渡り歩き、寄せ書きに筆記した者の消息を調べたが、全員が死亡していることが判明した。最後の一人が他界したのは、わずか数ヶ月前だった。

ただし、兄弟の記憶は地域に残されており、守氏は、3人兄弟の末っ子だったということが、判明した。



岐阜県の位置

## 寄付のお願い・連絡先

当団体は、皆様からの寄付により活動しています。

### 宛先

アメリカ在住の方（501(C)3を通じた税金控除の対象となります）

**AVA/OBON 2015**

**P.O. Box 282**

**Astoria, Oregon 97103**

日本在住の方 <ゆうちょ銀行からの振込>

記号：14450 番号：16577781

名前：OBON ニセンジュウゴ

<他金融機関からの振込>

振込先銀行名：ゆうちょ銀行

店名：四四八（読み ヨンヨンハチ） 店番：448

口座番号：1657778

口座名：OBON ニセンジュウゴ

（「OBON2015」は、2015年の日章旗返還を目指した、OBON ソサエティの前身名です）

皆様から頂いた寄付金により、より多くの遺品を返還することが可能になります。

日章旗をお持ちの方、また、所有されている方をご存知の場合は、当団体までご連絡ください。日章旗・その返還方法に関して、ご質問があれば、ご遠慮なくお尋ね下さい。我々は日章旗の返還に、使命と情熱をもって、取り組んでまいります。

### OBON Society

P.O. Box 282

Astoria, Oregon 97103

[contact@OBON2015.com](mailto:contact@OBON2015.com)

